

平成27年度 見附市学校保健部 活動報告

部長 櫻井 邦子

1 研修のねらい

児童生徒の「生きる力」を育む学校保健活動を目指して

2 研修の実際

(1) 講義

テーマ 「より良い生活習慣を送ろうとする児童の育成 ～睡眠習慣の行動変容を目指した指導の実践と効果の検証～」

講師 十日町市立川西中学校 養護教諭 小野塚 恵美子 様



内 容

今年度の重点を決める

前年度の生活実態調査や生活習慣強調週間の結果から、今年度の重点を決定する。

① 研究の設計図を描く

対象学年や具体的な実践方法、目指す子どもの姿や成果の検証方法を決定する。
年間を見通して実施時期を決定する。

② 実践を進める

学年部や保護者との連携を図りながら計画的に進める。
状況により修正を加えながら進める。

③ 検証を進める

計画に基づき、検定・分析をする。
全体の変化と併せて、個々の変化の方向性を判定する。

(2) 見附市としての今後の取組

各学校で今年度実践している課題をまとめるときに、全体的な数値の変化だけではなく、個々の変化にも目を向けた分析に挑戦する。

3学期に実践を持ちより、研修を深める。

3 成果と課題

(1) 今年度の課題を設定する時は、一年間を見通した計画の必要性和設計図を描くことの大切さを知ることができた。

(2) 計画を実施する際は、今まで実践してきたことを大切にしながら、新しく取り組むことをプラスしていくことが効果的であり負担感も少ないとの話から、自校での実践への意欲がもてた。

(3) 研修で学んだことを各学校で実践し、持ち寄り、研修を進めていく。実践した指導案やワークシート、資料等を整理し、情報の共有化を図っていく。

(4) 生活習慣については、中学校区での小中連携した取組も大変有効である。
児童生徒の実態を話し合う場を設定し、発達段階に合わせた取組や、家庭との連携を図った取組を実施していく。